

第99回 全国安全週間 ※労働災害撲滅への取り組み 令和8年7月1日(水)~7日(火)

今年で99回目となる全国安全週間は、労働災害を防止するために産業界での自主的な活動の推進と、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的として厚生労働省が実施しています。令和8年度の安全スローガンは『多様な人材 全員参加 みんなで育てる安全職場』です。我々の業界でも多様な方々と作業を行っています。その一人一人が安全に働くことができる職場環境を築くために労働者の意識の向上、取り組みが求められています。

令和8年度 安全大会大阪

6月15日(月)安全衛生向上委員会大阪が主催の令和8年度安全大会を開催いたしました。協力会社様、大阪社員と多くの方々にご参加いただきました。今回は安全大会後の参加者のアンケートから数多くあがっていた声から当日の内容をお伝えさせていただきます。



▼1部：JASST柿壽さんによる講和「労働災害から考える対応思考」

- ・欧米の安全に対する考えが日本とは違い驚いた
- ・周りへの配慮や気配り、声掛けが重要
- ・業種にあった内容で為になった

日本と欧米の事故に対する考え方の違いは興味深く、欧米は安全管理を徹底しても事故は防ぐことはできず、どれだけ軽度の事故になるか、件数より内容を重視している点です。その考え方は現場に於いて重要だと強く感じました。

▼2部：1年間の事故災害事例報告(大阪現場)

- ・少しの注意で回避できる事故が多い、気を引き締めて作業したい
- ・フォークリフトの事故が多く床に落下物がないか確認することを徹底したい
- ・声の掛け合いを徹底したい

この1年の事故は、伝え方や伝わり方の行き違いで起きたものや、整理整頓できていないことが原因だったり防ぐことができた事故が非常に多く残念な結果でした。

▼3部：協力会社様とのディスカッション

- ・各協力会社の方々の意見が聞けて良かった
- ・声掛けやコミュニケーションをとることが安全に繋がると思った
- ・報告、連絡、相談をしっかりと行うべきだと思った

「安全管理とスケジュール管理」というテーマを元に意見交換してもらいました。どちらも優先して現場に臨むことの重要性やプレッシャーなど普段聞くことのできない各々の思いがありました。

▼全体を通して

- ・気が引き締まった/意識が高まった
- ・声掛け、コミュニケーションに心がける
- ・安全に対する理解が深まった

講和内容が舞台業界の事故内容だったことで皆さんも非常に興味深く受講されていた印象です。そのあと実際に自分達が携わっている現場に起きている事故報告を知り、より一層自分ごととして捉えることができたのではないのでしょうか。今後の現場で小さなことから安全行動に移していただければ幸いです。

ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。
これから始まる夏の繁忙期に向けて今二度
『安全』に対する意識の向上をよろしくお願いいたします。



告知

普通救命講習会 ※繰り返し学ぶことで身に付く講習



開催日：令和8年7月24日(金)
教育時間：午後2時より(2時間)
場所：東大阪事業所3階会議室

講師：東大阪市消防局 西消防署職員
付加講習：東大阪事業所 屋内消火設備
(1号消火栓)等の取扱い講習
主催：安全衛生向上委員会